

vol. 38

The News Letter

2018 WINTER

一般社団法人 日本歯科審美学会
General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

設立30周年の節目に思うこと

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 藤澤政紀



1988年に歯科審美研究会として産声をあげてから、はや30年の月日がながれ、654名でスタートした会員数も1991年には1,000名を超え、2007年には2,000名へ、そしてそのわずか2年後の2009年には3,000名、さらに3年後の2012年に4,000名、そして2017年に5,000名を超え、現在5,963名となりました。この間、1997年に第一期認定医が承認され、2004年に

第一期認定士承認、2007年にホワイトニングコーディネーター講習会開始、2010年に審美歯科に関する出張講義開始、そして2015年に一般社団法人日本歯科審美学会として登録され、今日に至っております。

国際的な活動としては1990年にAAAD（アジア歯科審美学会）が創設され、初代会長に羽賀通夫先生が就任されました。本邦におきましても何度かアジア歯科審美学会が開催されております。1994年にはIFEDが創設され、AAED（アメリカ）、EAED（ヨーロッパ）とともにJAED（日本歯科審美学会）がファウンダーアカデミーとなっております。2度のIFED大会を日本で開催し（1997年・丸山剛郎大会長、2017年・千田彰大会長）国際的な交流も盛んになっております。この間、2007年には韓国歯科審美学会（KAED）と、また2010年にはアメリカ美容歯科学会（AACD）と姉妹協定を調印し、現在も相互交流が継続しております。

「喝水不忘掘井人」、水を飲むときは、井戸を掘った人を忘れてはならぬという先人の言葉です。私自身、上述のような経緯を体験しているわけではありません。諸先輩の審美歯科を愛してやまぬ、そして大切に育みたいというお気持ちが紡がれ、今日に至ってきたものと拝します。11代におよぶ歴代の会長・理事長のご苦勞はいかばかりであったことでしょうか。そして、これからの未来を見つめ、私たちが国民の皆様にとどのように貢献できるのかを考えると、幾多の困難を先人はどのようにして切り抜けてきたのだろうか、と思いを馳せずにはおれません。それは、きっと人と人のつながりだったはず。デジタル化が進み、いずれはやってくるAIの臨床への組み込みが起こっても、難局を乗り越えるのは人と人の想いが大きな力になるはず。無論、新たなテクノロジーを取り込むことは必要不可欠です。つまりはバランスをとって対処することが、これまでも、そしてこれからも肝心なのではないでしょうか。

第30回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門 大会長 真鍋厚史



「平成最後の大晦日」を迎えるのかと感慨深いです。約一年後に第30回一般社団法人日本歯科審美学会の学術大会を開催する運びとなりました。新しい年号となり、会場も昭和大学の新たな講堂を予定しております。スタートの年となる本学術大会のテーマは『笑顔をはぐくむ明日への医療』として、日進月歩の進化を遂げる審

美歯科領域の情報発信と交流の場となることをめざし準備をすすめております。本学会は今年度で30周年を迎えましたが、30年前には想像できなかった技術が歯学を圧倒的に変化させました。本学術大会でこれからの30年を見据えた新たな審美歯科治療のスタンダードについて熱い議論を交わすことができれば幸いです。

2019年11月30日、12月1日と月をまたぐ日時での開催となりますが、街中ではイルミネーションが始まり、冬の澄んだ空気の中、美しい東京を満喫していただけるのではと想像がふくらみます。11月はじめには、神宮外苑に東京オリンピックメインスタジアムとなる新国立競技場も竣工予定であり、学会会場から少し足を伸ばして、鮮やかに色づいた絵画館前の神宮外苑いちょう並木やオリンピックイヤーの活気などお楽しみください。

会場となる上條記念館の建設事業は昭和大学90周年記念事業の一貫として進行中のプロジェクトです。特徴的な建物のフォルムとなっており、新たな昭和大学の顔として、暖かく落ち着いた気のある施設として誕生予定です。



上條記念館

新たな審美歯科領域を担う世代の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の活躍の場を広げることを一つの目標とし、ポスター発表では認定医、認定士の資格更新のための症例発表コーナーを設け、今までよりも発表しやすい仕組みを計画中です。例年通り一般口演、ポスター発表も募集いたしますので、ふるってご参加下さい。特別講演、教育講演、市民公開講座のほか矯正、保存、補綴、ホワイトニングと4つのアドバンスドセミナーとランチョンセミナーをプログラムと予定し、今年度人気を博している本学会主催のセミナーでご講演頂いている講師陣に御登壇いただきたいと検討しております。ホワイトニングコーディネーターの方々には資格取得後のブラッシュアップとして、また資格更新の単位取得としてお役立てください。

学術大会で多くのことを学ばれたあとは、懇親会にお越しください。会場は、学術大会会場にてそのまま執り行います。パンケットルームにて、ご講演頂く講師陣、発表して下さる若き世代の学会員を労い、親睦を深めてまずは我々から笑顔をはぐくみましょう。専門分野の垣根を越えて、フランクに意見交換し交流できることが本学会の強みであり最大の魅力と感じております。学術大会を通して皆様が活躍の場を広げ、家族、職場、患者さまの笑顔をはぐくむことで、社会が良くなる、そのようなこれからの医療、明日への医療の発展を願っています。

準備委員会一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



新国立競技場



いちよう並木



イルミネーション

セミナー案内

審美を極める5回シリーズセミナー(第4回・第5回の案内)

歯科医師学術講演委員会委員長 脇 智典

今期、『審美を極める5回シリーズセミナー』として、第1回から第5回までのセミナーを開催しております。現在、第1回から第3回まで終了しており、セミナー後のアンケートでは、大変好評な結果を頂いております。次回の第4回セミナーは、2019年3月21日(木・祝)に、大阪歯科大学創立100周年記念館にて行います。歯科医師・歯科技工士セミナーは、『インターディシプリナリーアプローチで審美を極める』として、矯正科医と補綴科医の連携およびDr.とDTの連携についての講演を致します。歯科衛生士セミナーは、『矯正歯科治療と予防歯科を極める』として開催されます。ぜひご参加ください。そして、最終回の第5回セミナーは、2019年5月26日(日)に、日本歯科大学九段ホールおよび152講堂にて、歯科医師・歯科技工士セミナー『デジタルデンティストリーで審美を極める』として開催されます。歯科衛生士セミナーは、詳細が決まり次第、ご案内させていただきます。ご期待ください。

《第4回セミナー》

【開催日】2019年3月21日(木・祝)

【会場】大阪歯科大学創立100周年記念館

【歯科医師・歯科技工士セミナーテーマ】

『インターディシプリナリーアプローチで審美を極める』

【歯科医師・歯科技工士セミナートピック】

『矯正科医と補綴科医の連携およびDr.とDTの連携』

●歯科医師・歯科技工士セミナーコーディネーター：橋場千織、石川功和

歯科医師・歯科技工士セミナー講師：南 昌宏(大阪府・南歯科医院)、布川隆三(大阪府・布川矯正歯科)、安賀 稔(大阪府・安賀歯科クリニック)、松川敏久(奈良県・松川歯科クリニック)、井上洋介(奈良県・IEDITION)

【歯科衛生士セミナーテーマ】

『矯正歯科治療と予防歯科を極める』

●歯科衛生士セミナーコーディネーター：山羽京子

●歯科衛生士セミナー講師：内川喜盛(東京都・日本歯科大学附属病院小児歯科)、三宅達郎(大阪府・大阪歯科大学口腔衛生学講座)、椿 丈二(東京都・ティースアート矯正歯科)、石野由美子(東京都・二子玉川ガーデン矯正歯科・昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科)、諸星裕夫(ライオン歯科材(株))

学術大会報告

日本歯科審美学会第29回学術大会報告

明海大学機能保存回復学講座 歯科補綴学分野 大会長 藤澤政紀

9月29、30日の両日、埼玉県川越市のウエスタ川越で一般社団法人 日本歯科審美学会第29回学術大会が開催されました。台風24号が日本列島を縦断するという予報が出される中での開催でしたので、参加者への影響が懸念されました。いざ蓋を開けると688名の参加者(事前登録者435名)と、多くの方にご参加をいただきました。参加された皆様、日本歯科医学会はじめ後援して下さった諸団体、協賛していただきました企業の皆様、運営のサポートをお願いしました口腔保健協会の関係者各位に深甚なる感謝の意を表します。

学術大会のテーマ「ほほえみをあなたにーThat's what we are here forー」のもと、第一日目のプログラムはSister Academy Sessionからスタートしました。提携しているAmerican Academy of Cosmetic Dentistry(米国)からJohn Rowe先生に、また、Korean Academy of Esthetic Dentistry(韓国)からJung-Sam Lee先生に講演していただきました。Lee先生の講演ではご子息が日本語通訳を務めてくれました。午後からは歯科衛生士対象(講師: 松山美和先生、永瀬佳奈先生)、歯科技工士対象(講師: 夏堀礼二先生、山下恒彦先生)の教育講演が二つの会場で同時に行われました。歯科衛生士のキャリアアップにむけ、認定士取得の意義、歯科医師と歯科技工士の連携の重要性が参加者にも得心できたものと思われました。特別講演では申 基喆先生による「天然土とインプラント周囲における審美的ソフトティッシュマネージメント」と題する特別講演が行わ



認定士の重要性を説く松山先生

れました。ピンクエステティックスに関する症例を、その手技の選択根拠となるエビデンス紹介と併せての講演に、改めて歯冠の形態、色調、排列のみならず、歯肉との調和の重要性を認識することができたように思います。特別講演開催中に、隣の会場では「素敵なスマイルを身に着けようーインプレッショントレーニング」の会場準備が進められておりました。持ち込み機材の設定がととのったところで、重太みゆき先生による市民も参加しての教育講演が行われました。参加者の映像も取り込み、笑いと真剣な表情が交錯するなか、あっという間の90分が過ぎていきました。大会第一日目の最後に、日本歯科医学会会長の住友雅人先生による、会員を対象とする懇談会が行われました。例年は役員を対象としていた日本歯科医学会会長懇談会でしたので、今回初の試みとなりました。専門分科会への昇格を目指す本学会にとって、有益な情報を多くの会員が共有できる貴重な機会となりました。

さて、例年第一日目のプログラム終了後に会員懇親会をおこなっていましたが、今年は「学会設立30周年記念祝賀会・会員懇親会」として研究会時代から数えて設立30周年となる節年を振り返り、次の時代に繋げる思いを共有する会として、また国際交流でお世話になっているAACD、KAEDの先生方やお越し下さった来賓の方々にこれまでの歩みを披歴し、今後へのご理解とご支援をお願いする場として、川越プリンスホテルで開催されました。名誉会員の先生方にもご出席いただき、築かれた礎に敬意を表した次第です。その後、海外の先生方との更なる懇談を深めるべく、場所を変えての二次会にも多くの役員・



クーリングオフ制度と医療広告ディスカッション

会員が参加し、川越の夜は更けていきました。

第二日目は奈良理事長の理事長講演で幕が開け、シンポジウムへとバトンが渡りました。今歯科界で最も関心の寄せられるトピックスのひとつである、「患者さんにとっての審美歯科治療ークリーニングオフ制度と医療広告ー」と題するシンポジウムでは厚生労働省から渡邊譲先生、国民生活センターから丸山琴野先生をお招きし、本学会でホワイトニング指針を取りまとめた日野年澄先生を加えた三名で行われました。このシンポジウムからも、本学会が患者の満足が得られる治療を目指していることを感じ取られた、との感想も多く聞かれました。同じ時間帯の隣の会場では鱒見進一先生、吉岡文先生、勅使河原大輔先生による「顎顔面補綴」のアドバンスセミナーが行われ、機能の回復を補綴装置により回復し、機能美を達成することの重要性が示され、参加者一同の共感を得ていました。午後は矯正歯科の立場から「歯科審美治療に役立つ矯正装置」と題して、榎宏太郎先生、橋場千織先生によるアドバンスセミナーが行われ、並行して保存の立場から「保存補綴の境界」と題して保坂啓一先生、北原信也先生によるアドバンスセミナーが行われました。いずれも臨床例を通し、参加者の関心を集めておりました。学術大会最後のセッションは小川匠先生、梅原一浩先生による「審美補綴におけるデジタルデンティストリーの現状と将来」と題する補綴のアドバンスセミナーでした。デジタルを用いることで、将来の歯科臨床の方向性に示唆の富む内容でした。同時時間帯に佐藤亨先生による市民公開講座「素敵な笑顔でよく噛めるーそのために皆さんがやること、知っておくべきことー」が



ポスター会場

行われ、口腔のみならず、姿勢など全身に気をつけることの重要性に一同頷いておりました。

このほか、一般口演5題、ポスター発表50題と会員の発表の場としても活発な討議が繰り広げられました。ランチョンセミナー3題を含め、協賛企業の積極的な参加により、参加者へ貴重な情報提供の場になったように感じております。

平成最後の学術大会を30周年という記念すべきタイミングでお世話させていただきました。至らない点が多々ございましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げますとともに、準備・運営にあたりました教室員へのねぎらいのお言葉を頂戴しましたことに対しまして感謝申し上げます。



設立30周年記念祝賀会・会員懇親会でこれまでの足跡スライド上映



AACD、KAEDの先生方とのミーティングを終えて

海外学会参加報告

第15回AAAD学術大会に参加して

長崎大学病院 田上直美

2018年9月27日から30日の4日間、15th Biennial Meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry (AAAD)がDental Aesthetics Meeting in Asia (DAMA) 及び6th Biennial Meeting of Aesthetic Dentistry Society Singapore (ADSS)との併催という形でシンガポールにて開催されました。27日と30日はワークショップが中心で、メインの学術大会は28、29日の2日間でした。

シンガポールの9月は乾期にあたり、気温は高いものの日本ほど多湿ではなく、過ごしやすい陽気でした。会場となったのはマリナベイサンズの中にあるコンベンションセンターで、道路を挟んで目の前がマリナベイサンズホテルという絶好のロケーションです。大会長はJeffrey Seow先生が務められましたが、AAADのPresidentであるRonnie Yap先生が大会運営に大きく関わられ、AAAD加盟の各国からも10名のプレゼンターが講演されました。日本歯科審美学会からは山田和伸先生(株)カスプデンタルサプライ)がご発表なさいました。ジルコニアレストレーションの色調再現に関する山田先生のご講演は、美しい画像のみならず動画も交えた素晴らしいプレゼンテーションで、多くの聴衆が聴講しました。ご講演終了後は質問の嵐で時間が足らず、結局ロビーで質問に答えられるほどの人気ぶりでした。他の先生方のご講演も、修復、矯正、補綴など、幅広い症例が多く呈示され、大変勉強になりました。3つの学術大会の併催ということもあり、21名による講演、40社によるエキシビション、参加者は21カ国から454名という、とても賑やかで楽しい大会となりました。

今年のAAAD大会の日程は、偶然にも第29回日本歯科審美学会学術大会と完全に重複していたため、日本人の参加がとても少なかったのは残念ではありましたが、16th Biennial Meeting of AAADは日本からのアクセスが良いソウル(韓国)で開催される予定です。2年後、多くの会員の先生方と共に参加できることを楽しみにしています。



発表される山田和伸先生



賑やかな企業展示ブース

セミナー報告

第44回WC講習会・認定試験の開催報告

日本歯科大学附属病院 石川明子

第44回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が、平成30年6月24日(日)に日本歯科大学生命歯学部富士見ホールで開催されました。この講習会・認定試験は、平成30年度第1回目の開催となります。募集定員は300名ですが、募集と同時に定員に達し、キャンセル待ちがでた程でした。最終的な参加人数は、講義・受験者343名、講義のみの7名を加えた350名でした。

講習会は、9時30分の開会のご挨拶から始まり、「歯のホワイトニング基礎編」を石川明子(日本歯科大学附属病院総合診療科ホワイトニング外来)が講演しました。続いて、「歯のホワイトニング実践編」を山口麻衣先生(昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科部門)が行ったあと、昼食休憩に入りました。午後からは、「ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア」を永瀬佳奈先生(松尾歯科医院)が講演し、次に「こんなときどう答える? -患者さんの質問に対して-」と題して、星野睦代先生(桑鶴歯科医院)が具体的な質問を設定し、それに対する解答を説明しました。認定試験の前に10分間、会場からの質疑応答を行いました。本日の講演を聴講し、疑問に思った点、また日頃ホワイトニング臨床を行って感じた疑問点など10分間では足りない程、活発に質問ができました。

認定試験は、60分間で40問の4肢択一試験で行われました。試験監督以外の委員は、1階メモリアルホールで試験の終了した受験生の質疑応答時間に聞くことのできなかった多くの質問に答え、第1回講習会・認定試験が終了しました。

この講習会の開催が、更なるホワイトニングの普及や、疑問点の解消に貢献できれば幸いです。



セミナー報告

審美を極める5回シリーズセミナー第2回および第3回セミナーの報告

歯科医師学術講演委員会委員長 脇 智典

さる2018年5月13日(日)と7月15日(日)に、日本歯科大学にて、『審美を極める5回シリーズセミナー』の第2回セミナーおよび第3回セミナーを開催致しました。第2回の参加者は108名、第3回の参加者は207名でした。第1回セミナーの参加者の150名を合わせると、『審美を極める5回シリーズセミナー』の第1回から第3回までで、465名の方々に参加して頂いております。

第2回セミナーのテーマは、『インプラント審美を極める』でした。セミナーコーディネーターを、脇 智典、高橋真広先生に行って頂きました。講師は、日高豊彦先生(神奈川県・日高歯科クリニック)、石川知弘先生(静岡県・石川歯科)、殿塚量平先生(東京都・とのつか歯科)、高橋 健先生(神奈川県・株式会社Smile Exchange)、脇 智典(東京都・医療法人社団麻布東京デンタルクリニック)に行なって頂き、質疑応答では多くの質問があり盛況となりました。

第2回歯科衛生士セミナーの講師は、末瀬一彦先生(大阪府・大阪歯科大学客員教授)、鍛冶田忠彦先生(東京都・昭和大学歯科病院歯科技工室・歯科技工士)、田内友貴先生(東京都・フリーランス・歯科衛生士)、阿部田暁子先生(埼玉県・医療法人寛友会浅賀歯科医院・歯科衛生士)に行って頂きました。

第3回セミナーの歯科医師・歯科技工士セミナーのテーマは、『ピンクエステティックを極める』で、佐藤洋平先生、小林幹宏先生にコーディネーターを行なって頂きました。講師は、中田光太郎先生(京都府・中田歯科クリニック)、木林博之先生(京都府・きばやし歯科医院)、佐藤祥子先生(埼玉県・佐藤歯科クリニック)、宇毛 玲先生(東京都・ウケデンタルオフィス)、志田和浩先生(神奈川県・株式会社PREF)に行なって頂きました。

第3回歯科衛生士セミナーのテーマは『歯周病治療を極める』で、講師は、小林明子先生(東京都・小林歯科医院)、松澤澄枝先生(東京都・日本歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士室)、山本松男先生(東京都・昭和大学歯学部歯周病学教室)、関野愉先生(東京都・日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座)に行なって頂き、大盛況のセミナーとなりました。



委員会報告

編集委員会

「歯科審美」の発行に際し、いつもご協力いただきありがとうございます。今年9月に「歯科審美」第31巻第1号を発行できました。この号では、原著論文がなく寂しいのですが、臨床論文(症例報告)4編と特集3編、合計7編の論文が掲載されております。臨床論文は、4編中3編が認定医ケースプレゼンテーションの長期症例報告であります。本学会認定医制度施行細則の第7条に「プレゼンテーションした長期症例の投稿義務」があり、これを守られる認定医取得者が徐々に増えてきていると思いますが、未投稿の先生方はできるだけ早くご投稿いただきたいと思います。今回の特集では、「審美歯科治療における歯科衛生士の業務」をテーマとして、3名の先生方からご執筆いただきました。紹介文にも記載されていますが、本学会では、近年歯科衛生士の会員数が著しく増加し、学会活動における歯科衛生士の果たす役割も非常に重要になってきました。そこで、今号の特集では、歯科衛生士の会員の方々に向けてこの特集を組んだ次第であります。審美歯科治療におけるアシスタントワーク、口腔内写真撮影法ならびにホワイトニングコーディネーターの役割について、各先生からわかりやすくポイントを解説していただきました。是非ご一読いただき、今後の臨床業務にお役立ていただけると幸いです。

専門分科会への昇格を目指し、理事会では準備を開始しました。前号でも報告させていただきましたが、専門分科会の条件としては、年間20編以上の論文掲載が必須であります。昇格審査では、「歯科審美」以外に審美歯科関連の英文誌掲載(過去5年間の原著論文)も審査対象となります。現在、大学所属会員の該当論文を調査中ですが、開業医の先生方で該当する論文がございましたら事務局に詳細をお問い合わせの上、是非ご報告いただきたいと思います。

本学会の表彰制度には、「歯科審美」掲載論文を対象にして、優秀研究論文賞、優秀臨床論文賞、ならびに優秀奨励論文賞がありますが、前号でもお知らせしたとおり、2016年度から受賞者が出ておりません。そこで、表彰制度規則の一部を見直し、優秀研究論文賞と優秀臨床論文賞は、受賞資格としての本学会会員歴を「5年以上」から「3年以上」に、また、優秀奨励論文賞では「会員歴3年以上」と「35歳未満」の2つのしほりをなくしました。この制度規則の変更によって、従前より受賞者が出やすくなったと思います。当然のことながら、論文掲載がなければ論文賞受賞のチャンスはありません。また、症例報告であっても、優秀臨床論文賞や優秀奨励論文賞の受賞対象論文になりますので、是非、積極的にご投稿いただきたいと思います。特に認定医ケースプレゼンテーションの症例報告・臨床論文のご投稿をお待ちしております。

(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

国際渉外委員会では、若手委員として新たに四ッ谷護講師（東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座）に加わっていただきました。日本歯科審美学会（JAED）は、アメリカ（American Academy of Cosmetic Dentistry）および韓国（Korean Academy of Esthetic Dentistry）の学会と姉妹協定を結んでおり、9月の川越大会ではこの2つの学会から演者（Dr. John Rowe および Dr. Jung-Sam Lee）をお招きしました。また、30周年記念ディナーには、AACDより Dr. J. Rowe、KAEDより Young-Jun Lim 前会長を始め多数の役員の先生方に参加いただきました。2019年4月に開催されるAACD年次大会には、保坂啓一先生（東京医科歯科大学）を公式演者として派遣する予定です。

JAEDは、IFED（International Federation of Esthetic Dentistry）とAAAD（Asian Academy of Aesthetic Dentistry）に組織加入しています。このうち、AAADは9月にシンガポールで学術大会と役員会を行いました。この役員会では、Dr. Myung-Jin Kim 新会長を助ける新理事が決まりました。日本から、田上直美先生（長崎大）が理事として加わりました。次回のIFED大会は、2019年10月にバルセロナで、AAAD大会は2020年にソウルで開催されます。機会があれば、ぜひ参加いただきたいと思います。（委員長 中村隆志）



Myung-Jin Kim 新会長の挨拶



AAAD 新理事

資格承認統括委員会

第44期認定医1名、第18期認定士2名（歯科技工士、歯科衛生士各1名）が認定されました。現在、第46期認定医、第19期認定士申請のご案内を準備中です。申請資格を満たしている会員の皆様は、是非、ご取得ください。

一般社団法人日本歯科専門医機構が設立され、わが国の歯科専門医の制度が大きく変わろうとしています。本学会も会員に実施したアンケート結果をふまえて、認定制度をより良いものにしていかねばなりません。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

開業医の認定医から、更新要件の学会発表・論文発表を達成するのが難しいとのご意見をいただいております。第30回学術大会(2019年11月30日、12月1日・於 昭和大学・真鍋厚史大会長)では、認定医の症例報告のコーナー(ポスター発表)を設けるように大会長をお願いしております。これは、認定医としての技量がわかるような症例を発表していただくものであり、決して珍しい症例である必要はありません。認定医の皆様におかれましては、是非、ご発表ください。(委員長 大槻昌幸)

表彰選考委員会

2018年9月に開催された第29回学術大会において、若林一道先生(大阪大学大学院歯学研究科)が発表された「新規CAD/CAM用ハイブリッドレジンブロックで製作したクラウンの破壊強度」が優秀発表賞(デンツプライ賞)に選出されました。また前年度の受賞者、古谷彰伸(勝田台フルヤ歯科)先生の表彰を行いました。両先生には心からお祝い申し上げますとともに今後益々のご活躍を祈念いたしております。

また同大会において、2018年度学会功労賞受賞者の齊木好太郎副理事長、武井典子理事の表彰をさせていただきました。両先生には、本学会に対する長年のご貢献に心から感謝申し上げますとともに、これからも引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

優秀論文賞は2017年度も該当者がありませんでした。優れているにもかかわらず会員歴や年齢が基準を満たさないために審査対象にならない論文も多く、委員会では表彰制度規則を見直し、一部を改正いたしました。具体的には優秀論文賞のうち優秀研究論文賞、優秀臨床論文賞の審査対象を、本学会員歴5年以上になっていたところを3年以上とし、さらに優秀奨励論文賞においては、3年以上となっていた会員歴と35歳未満となっていた年齢制限を削除して審査対象論文の枠を広げることとしました。会員の皆様には入会歴や年齢に関わらず、優秀論文賞を目指して学会誌への投稿に今後益々積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。(委員長 日野年澄)



学会功労賞表彰



優秀発表賞表彰

広報委員会

広報委員会では年2回のニュースレターの発行、およびホームページの更新を行っています。皆様のお力添えにより、今回、ニュースレター第38号を無事に発行することが出来ましたことを深く感謝申し上げます。本号では、藤澤副理事長からの巻頭言、第30回日本歯科審美学会大会案内、各委員会報告、セミナー報告など盛り沢山の内容が掲載されていますので、ぜひご一読ください。

日本歯科審美学会では、ホームページやメール配信を意識した情報発信に取り組んでおります。次年度に向けた役員選挙や理事・代議員選挙等に関する情報も掲載しておりますので、定期的なホームページの閲覧および、学会からのニュース・メールの確認をよろしくお願いいたします。また、6月以降、大阪や北海道での地震、全国的な集中豪雨につきまして、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。当学会では、激甚災害に罹災された会員の方々におかれましては、特別支援措置として、学会費の減免(願)および認定医・認定士・ホワイトニングコーディネーターの申請・更新に係わる特別措置を行っております。こちらにつきましても本ニュースレターおよびホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

会員の皆様に有益な情報をお知らせできるよう頑張っていきますので、広報委員会の活動にご助力賜りますよう、よろしくお願いいたします。 (委員長 若林一道)

激甚災害に罹災なされた会員への特別支援措置について

各地で生じた内閣府指定の激甚災害に罹災された会員各位に対し、衷心よりお見舞い申し上げます。被災なされた会員各位ならびにご家族様のお気持ちと生活が、一日も早く安らかとなりますよう、ここからお祈り申し上げます。

さて、本学会では「学会費の減免(願)および認定医・認定士・ホワイトニングコーディネーターの申請・更新に係わる特別措置(願)」について、学会ホームページに掲載しております。

罹災なされた会員各位におかれましては、必要に応じ、上記書類をダウンロードいただき、必要事項記入を経て、必要書類と共に学会事務局にご提出願います。

優秀発表賞受賞者のご紹介

BTAテクニック®を応用した審美歯科臨床とCT所見

千葉県開業 勝田台フルヤ歯科・昭和大学歯科補綴学講座兼任講師 古谷彰伸



6千名会員の学会の評議員、理事の先生方の推挙で、このような光栄な賞を頂き感謝感激です、ありがとうございました。

私は平成元年(1989年)に昭和大学卒業で、冠橋義歯補綴学教室入局、川和忠治教授と割田研司准教授のもと臨床指導を受け、金属アレルギーの疫学的調査、ポーセレンラミネートベニアの臨床、キャストブルセラミックスの学位研究、臨床実習教官など昭和大学歯科病院に12年在籍しました。現在、千葉県佐倉市の内科(実家)の隣接地で開業して17年目です。

学会は1992年第2回名古屋大会から参加で、1997年第9回京都大会で「ポーセレンラミネートベニアを装着してトラブルを生じた臨床例」(歯科審美, 第11巻, 第1号, p1-8, 1998.)を発表、以来数回発表しています。今までホワイトニングコーディネーター委員そして副委員長、セミナー委員、認定医審査会委員など担当しています。2010年第21回岩手大会で坪田健嗣先生からBTAテクニックを初めて見て衝撃を受けました。坪田先生は2012年に優秀発表賞を受賞、そして2014年にBTAセミナーを開始、私は副会長を拝命で司会を担当し、セミナーは8回(計254名参加)、勉強会を11回(計182名)と研究会で育成、前回の富山学会で7題、今回は全50ポスター中で研究会から10題、日本大学から1題と多くのBTA臨床発表が出ました。去年は前島健吾先生も受賞で、BTA臨床から計3回も選ばれとても嬉しいです。

今後も学会活動や多くの先生たちの素晴らしい知識、臨床技法を享受して、より良好な臨床歯科医学を追求していきたいです。



学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 齊木好太郎



この度は、一般社団法人日本歯科審美学会功労賞という大変名誉ある栄に浴し光栄と共に大変感謝申し上げます。これも偏にその時々のお会長のはじめとして役員方のご指導とご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

ふり返りますれば、1988年(昭和63年)4月に入会させて頂き、1996年(平成8年)理事の時に当時の桑田正博常任理事ご指導の下事務局長として、歯科技工士認定士制度の検討・草案作成、そして後の2000年(平成12年)常任理事就任後は、「会員証カード」検討委員会の委員長として会員証カード作成とともに学会ホームページ刷新(立ち上げ)、それを学会として実践すべくご承認を頂けるよう理事会発議など、諸般における勉強をさせて頂き、今日あるのもその折々に経験をさせて頂いた賜と感謝しております。

私自身の学会活動は、専門職であります歯科技工の専門学会である(一社)日本歯科技工学会において、理事、副会長、会長を務めさせて頂きましたが、歯科技工士が大多数の学会で経験させていただいたことと、本学会のように種々の職種の方々との学会活動の経験は新鮮な思いをいたことを今でも記憶しています。

このように、多々ある歯科関連学会の中で、歯科医師をリーダーとして歯科衛生士そして歯科技工士が共に同じ会員としてその目標に向かって協力し合い会務運営・活動をおこなっている数少ない学会かと思えます。そのような中で、最近では学術講演委員会での歯科技工士部会の次世代を担って頂く歯科技工士部員との活動などその責任の痛感とともに期待をしている次第です。その意味でも今回の受賞を励みとし、私自身は勿論ですが歯科技工士部会、会員と共に一層学会活動に邁進、貢献させて頂ければと思います。この度は誠にありがとうございました。



学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

(公財)ライオン歯科衛生研究所 武井典子



この度は、学会功労賞を賜わり身に余る光栄でございます。今回の受賞は、諸先生方のご支援ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。今回の受賞を機会に歯科審美と歯科衛生士の役割について考えてみました。

日本の歯科衛生士の就業者数は、123,831人(H28年)と50年間で44倍に急増し、現在、日本はアメリカに次いで世界で2番目に就業歯科

衛生士数が多い「歯科衛生士大国」となりました。歯科衛生士の主な就業場所は、歯科診療所が90.6%と圧倒的に多く、地域包括ケアシステムの構築が急がれるなか、診療所の歯科衛生士も多職種と連携しながら地域に出て、その専門性を発揮することが求められています。在宅療養者や要介護者の口から食べる機能を維持して低栄養や誤嚥性肺炎を予防するなどの口腔健康管理が重要となります。これらは、生命の維持・活力源の強化のみならず生きる楽しみ・QOLの向上を目指すものです。口腔周囲の機能の回復やトータルの歯科審美の向上は、表情を明るくし、生活に活力をもたらすことから、超高齢社会においては、歯科審美は、「美味しく食べ、楽しく会話し、美しい笑い」のあるBeautiful ageingをサポートする学際的な分野として、その重要性は益々高まると確信いたします。こうした状況の中、歯科衛生士が歯科審美の分野でさらに役立つ存在になるためには、研究的視点を持った臨床症例への対応、さらには生活者や患者の視点に立った医療技術の客観的な評価が重要になります。これらを推進するには、専門分野である『自然科学的研究』をベースに、得られた成果を効率的に社会に応用するための方法論を検討する『社会科学的研究』、さらに、生活者や患者の満足感を客観的に評価する『人文科学研究』、少なくとも3つの研究分野の視点が重要となります。つまり、口腔や自立の状態に対応した有効な口腔衛生管理法の確立などの『自然科学的研究』、それらをベースに、在宅、施設、病院において効率的に実施するための方法論の開発と評価などの『社会科学的研究』、歯科審美= Beautiful ageingのサポートが高齢者の喜びや満足感に貢献できているか否かを客観的に評価する『人文科学研究』と歯科衛生研究は多岐に渡ります。

今回の受賞を励みに、今後も歯科審美学分野における歯科衛生研究を通して、歯科衛生士の専門性を高めて社会貢献ができますよう精進いたします。この度は誠に有難うございました。

トピックス

漂白治療の特商法適応に対するワーキンググループ

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長・座長 日野年澄



平成28年の特定商取引法の改正によって美容医療サービスが特定継続的役務に加えられ、契約期間が1カ月を超え、かつ金額が5万円を超える歯のホワイトニングはこの法律の適用を受けることになりました。これは不適切な薬剤使用や契約によるトラブルが増えている事が一因と考えられますが、審美歯科医療の中で

歯のホワイトニングにおいても国民に対する責任と期待を担っている当学会では、こうした法改正や社会的要請への適切な対応を検討するため「漂白治療の特商法適応に対するワーキンググループ」を組織しました。ワーキンググループは私、日野年澄(大阪市開業)を座長とし、メンバーとして向井義晴先生(神奈川歯科大学)、金子潤先生(千葉県立保健医療大学)、山口麻衣先生(昭和大学)、真鍋厚史先生(昭和大学)、椿知之先生(東京都開業)、大槻昌幸先生(東京医科歯科大学)に加わって頂きました。

ホワイトニングは疾患に対する治療とは異なり、評価が患者の主観によるところも大きく、患者の期待していた結果や費用対効果との乖離から、術者が適切な処置を行っていたとしてもトラブルが生じやすいため、特商法適応の有無に関わらず、インフォームドコンセントの徹底が重要です。そこでワーキンググループでは特商法の内容も見据えた「歯のホワイトニング処置の患者への説明と同意に関する指針」をまとめ、準備が整いましたら学会ホームページ上に掲載いたします。また、グループで検討した内容の概要を先の第29回学術大会におけるシンポジウム「患者さんにとっての審美歯科治療ークーリングオフ制度と医療広告ー」でご報告いたしました。

もちろんこの指針に沿った説明をすればトラブルが避けられるというものではありません。術者には術前に患者さんの十分な理解を得て高い信頼関係を築いておくことが求められます。そのためにこの指針を参考にいただき、ご自身の医院の実情に合うようカスタマイズしてご活用いただきますようお願いいたします。

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-7-5
初台村上ビル4F
Tel: 03-5365-1760
<http://www.ultradentjapan.com>



長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://osada-group.jp/>



カポデンタルシステムズジャパン株式会社 オームコジャパン
〒140-0001 東京都品川区北品川14-7-35
御殿山トラスタワー15階
Tel: 03-6859-0065
<http://www.kavo.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソスミスクライン・コンシューマーヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4231-5108
<http://glaxosmithkline.co.jp/gsk-chj/>



クラレノリタケデンタル株式会社
クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー
〒141-8684 東京都品川区北品川16-7-29
Tel (コールセンター): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel(フリーダイヤル): 0120-789123
<http://www.dentsply-sankin.com/dentsplysirona/>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel(フリーダイヤル): 0120-54-1182
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>



株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513 京都第一生命泉屋ビル8F
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>



プランネットワークス株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル3階
Tel: 03-5452-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F-6F

Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5

Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35

Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10

Tel: 03-3836-1871
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

Tel(コンタクトセンター): 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

OptraGate®

立体構造のソフト開口器 オプトラゲート

口唇の排除に

ホワイトニング

ソフト 開口器

Moisture control
made easy

患者さんも、術者も、
ホワイトニングが
驚くほど **"楽"** になります。



開口だけでなく口唇をすべて保護。
ホワイトニングの薬剤やブラッシング指導時の
染め出し液等の口唇付着を防止します。

臨床試用品のご請求を承っております

当サンプル(臨床試用医療機器)は、医療担当者が当該医療機器の使用に先立って、有効性、安全性等について評価するために臨床試用することを目的とするものです。また、当該医療機器を既に採用している医療機関等に対しては、重ねてのご提出はできません。また、1機関に対し、1つのご提供となります。

下記QRコードより、必要事項をご記入の上、ご請求ください。



↑↑
サンプル請求
お問い合わせはこちら

一般的名称：歯科用開口器 / 販売名：オプトラゲート / 届出番号：13B1X10049IV0001 / 一般医療機器

www.ivoclarvivadent.jp

Ivoclar Vivadent 株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
TEL 03-6801-1301 | FAX 03-5844-3657

PR1001A14

ivoclar
vivadent
passion vision innovation



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／奈良 陽一郎

編集／一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

印刷／三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/